

都市再生整備計画 事後評価シート
栄町 安食・布鎌地区

平成25年3月

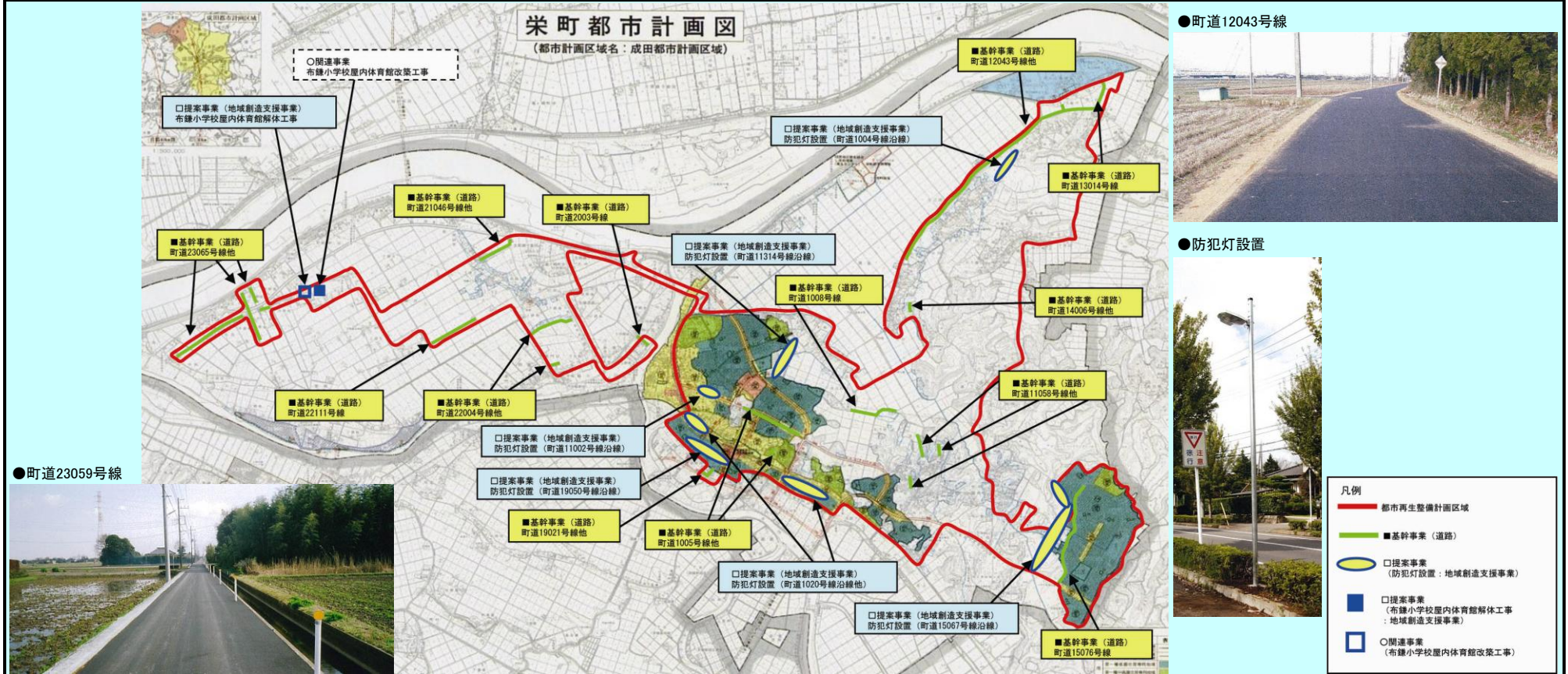
千葉県 栄町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	栄町		地区名	栄町安食・布鎌地区			面積	990ha	
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	296万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】町道1005号線他、町道19021号線他、町道12043号線他、町道13014号線、町道11058号線他、町道15076号線、町道21046号線他、町道22004号線他、町道22111号線、町道23065号線他、町道2003号線、町道14006号線他									
		提案事業	【地域創造支援事業】防犯灯設置、布鎌小学校屋内体育館解体、【事業活用調査】事業効果分析調査									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-									
		提案事業	-									
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】町道1008号線	事業の追加			目標、指標、数値目標への影響なし					
		提案事業	-									
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	-	-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	道路整備要望件数の解消数	件	79	H18	59	H24	58	○	あり なし	平成25年4月	
	指標2	交通事故発生件数	件	76	H18	68	H24	32	○	あり なし	平成25年4月	
	指標3	地震災害時避難者収容充足率(布鎌地区)	%	23.07	H19	25.66	H24	28.58	○	あり なし	-	
指標4									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	生活道路に関する町民満足度	%	-0.01	H16	/	/	0.16	/	/	-	
	その他の数値指標2	防災訓練参加者数	人	622	H20	/	/	1,107	/	/	-	
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	*竜角寺台地区において、「地域のことは地域で守る」といった趣旨から消防団に準ずる組織である「機能別消防団」が平成22年4月に新たに設立されていることから、住民の防災意識が向上している。 竜角寺台機能別消防団 団員数:17名(平成24年4月1日現在)											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス	町内全体の防災訓練					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 自立した自主防災組織の活動の質を高めるため、継続した支援を行い、広域避難所及び避難路を地域住民に周知を図っていく。	
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

様式2-2 地区の概要

栄町安食・布鎌地区(千葉県栄町) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
目標 ○安全で安心な活力ある共生社会の実現 目標①:安全・安心して歩行・走行できる道路整備及び生活環境の整備 目標②:老朽化した広域避難場所の耐震整備を進める	道路整備要望件数の解消数	単位:件	79	H18	59	H24	58	H24	
	交通事故発生件数	単位:件	76	H18	68	H24	32	H24	
	地震災害時避難者収容充足率(布鎌地区)	単位:%	23.07	H19	25.66	H24	28.58	H24	
	生活道路に関する住民満足度	単位:%	-0.01	H16	-	-	0.16	H22	
	防災訓練参加者数	単位:人	622	H20	-	-	1,107	H23	



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・整備地区内の道路は幅員が狭狭で、路面のわだちや無数のクラックが入り損傷が激しく通学路や避難路として、歩行者・通行車両の安全確保を図る必要があったが、道路を整備することにより快適に歩行・走行できる道路環境を整備することができた。しかし、地区内には整備要望のある未整備の生活道路が残っており、引き続き安全・安心な生活環境の整備が必要である。 ・地区内の道路には、防犯灯が設置されていない箇所があり、避難所への誘導をかねた防犯灯を整備する必要があったが、道路整備とともに防犯灯が設置されたことにより、地区内の交通事故発生件数が減少している。今後も引き続き、地域の声を聞きながら防犯灯整備を進める必要がある。 ・布鎌小学校の屋内体育館は老朽化しており、耐震基準に適合していないため広域避難場所施設としての機能確保が必要であったが、改築したことにより布鎌地区の災害時における避難所生活者想定数に対する避難所収容定員の比率が上がり防災面の備えが向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された道路及び防犯灯の適切な維持管理の推進を図る。 ・広域避難所機能保持のための維持管理と継続した避難訓練等の実施により住民の防災意識の向上を図る。 ・整備要望のある未整備の生活道路及び防犯灯について、引き続き安全・安心な生活環境の整備を推進する。